

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			定められた国の基準以上の設備と空間を整備しており、集団活動や個別活動など活動に応じて使い分けを行っています。加えて多目的室等も併設しており、利用児の体調や特性により多目的室の利用も行っております。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			国の基準以上の職員配置を行っております。保育士・看護師・理学療法士・言語聴覚士など利用児の特性を考慮し、目標や活動に応じてスタッフの配置を行っています。しかし、利用児1名に対し介助者を複数名要する場面（入浴・移乗・送迎車への乗せ込み等）も多く、適宜声掛けを行い安全に努めるように心掛けております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			スロープ、バリアフリー、通路の幅など利用児の特性を考慮した設計となっております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			情報共有の方法に申し送り書を用い、業務開始前、終了後に確認を行うことで全職員が業務改善に参画できるように努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者アンケートで頂いた意見は職員間で話し合いを行う時間を設け業務の改善に繋がるように努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			自己評価の結果は利用児・ご家族へはお便りにて配布し、また、ホームページでも公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在は利用児の保護者様と事業所内の評価のみ行っており、第三者による外部評価は行っていません。以前に評価して頂いた結果の助言をもとに業務改善を行い支援にあたっております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			年間スケジュールにて計画と担当を決め、各職種、専門内容を取り上げ実施しております。また、事業所内でおきた問題点やヒヤリハットに関しては、当事者と専門職とがチームになり適宜追加で研修を行い、スタッフの知識・技術の統一、向上を図っております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者と定期的にモニタリングを行い、目標に対する現状をお伝えしたうえで、改めて意向の確認を行い、計画立案を実施しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	標準化されたアセスメントツールは使用してませんが、日々の記録から子供たちの成長や必要とされる支援を考察しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			個別支援計画書を基に、活動リーダーが具体的な内容を作成しております。更にその内容を基に、必要時に支援方法や変更をチームで話し合っております。話し合いに参加できなかった職員には申し送り書にて認識の共有を図っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			活動リーダーを当番制にし、様々な活動を考えて実施しています。内容については季節の活動を取り入れたり同じ内容が続かないように考慮しております。
	13	平日・休日・長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			主に、学校下校後と学校休校日の2パターンスケジュールで作成しており、学校休校日は午前中に集団活動に取り組み、午後からはリハビリ等の個別活動や入浴等の生活支援を行うように設定しております。また、利用児の体力や体調に合わせ適宜変更しながら支援しております
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			利用児の特性やニーズに合わせ個別活動と集団活動を組み合わせる計画立案を行っております	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			勤務体制上、全職員が支援開始前に集まることは困難なため、当日の利用児全員の前回利用後からの特記事項を含む情報を一覧にした申し送り書を作成しております。その申し送り書を確認後に支援に入る流れを全職員徹底しており情報収集や確認事項を網羅できるようにしております。また、疑問点はその都度活動リーダーに確認するようにしております。役割分担については、別に全職員の1日の動き等をスケジュール化した一覧を作成しており担当を明確にする取り組みを行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			上段同様、勤務体制後全職員で話し合いを設けることは難しいですが、気づいた点、気になる点、引き継ぎが必要な点等は対象児の次回利用日分の申し送り書に記入し情報を共有できるようにしております
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画書に沿った各利用児毎に記録用紙を作成していることで、支援目標に沿った記録を行うことができ ております。また、チェックで表記しやすい形式にしているため、評価時に数値化もしやすく検証も行きやすいです。評価や検証結果は職員間での共有に努めております。
	18	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1度はモニタリングを実施し計画の見直しを行っております。また、6か月経っていない場合でも必要に応じてモニタリングを実施し判断しております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			計画書立案時には必ずガイドラインを確認し、支援内容を組み合わせる作成しております
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が参加しておりますが、必要に応じて利用児の担当者や専門職も参加しております。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			年間計画、行事予定、下校時刻の変更は学校側より保護者を通して確認して欲しいとのことなので、利用予定表を早めに作成し保護者への確認を行っております。
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアに関して、当施設の初回利用開始日までに主治医への指示書作成を依頼しております。利用開始前の指示書作成依頼は、利用開始直後からの日常の処置方法、急変時の対応、搬送すべき病院等が明確にし、利用時の安全確保を行う事に加え、主治医へ当施設への利用を開始するお知らせを目的としております
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学に伴い、利用児の利用施設が増える場合は特に担当者会議等で情報共有を行い相互理解に努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			上段同様、必要に応じて療育報告書を作成しております。児童発達支援管理責任者を中心に、保育士・看護師・機能訓練士が各専門分野に関する目標や取り組み、気を付けていること等をまとめて、情報提供を行っております。
関係機関 や保護者 との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今年度はありませんでしたが、今後、必要に応じて連携し研修等受ける機会を設けていきたいと思います
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ流行前は年1回開催される秋祭り等で利用児の兄弟と関わる機会がありましたが、コロナ以降お祭りを控えているため接する機会がありませんでした。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			可能な範囲で参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎毎に日々の状況伝達を行い、6か月毎のモニタリング時には日々の状況変化をまとめ、保護者と情報交換や共通理解を図っております
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	当施設は対象が重症心身障害児であるため、ペアレント・トレーニングの実施は行っておりませんが、常時、保護者の相談に対応できる体制をとっております。また、その都度解決策を一緒に考えたり、助言、提案を行ったりしております

